

平成25年度 安心まちづくり室

組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命) 組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目 今年度取り組む事項	C 設定理由・考え方 どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	D 活動(手段) 重点目標項目を実現するため行う活動や手段	E 目標の達成評価 目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	F 目標の達成度 ※目標の達成度の区分 (「B重点目標項目」単位での評価)	G 今後の取り組み 目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
防災・危機管理機能の充実や市民が誰でも安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。	1. 地域版防災マップの作成	・市民協働による地域版防災マップの作成(木津川破堤想定)	・区・自治会単位で市民協働による地域版防災マップの作成(2カ所)	・東区・三野区・草内区の3地区において地域版防災マップを作成。	A	・木津川破堤想定区域内で継続してマップ作成を行う。
	2. 避難所開設運営訓練の実施	・有事の際、迅速に適切な避難所運営が行えるよう訓練を行う。	・有事の際、迅速に適切な避難所運営が行えるよう訓練を行う。(HUGの活用など)	・HUG訓練の開催(区・自治会・職員・社協など) ・薪小学校において、避難所運営訓練の実施	A	・継続して避難所運営訓練を実施するとともに、避難所運営マニュアルの作成に着手する。
	3. 災害時要配慮者避難支援計画(モデル地区の選定・福祉避難所の指定)	・災害時要配慮者の避難支援の充実	・災害時における要配慮者の避難を支援するモデル地区を現在自主防災組織の設立されている地区から選定するとともに、福祉避難所の指定を行う。	・健康福祉部と連携して、福祉避難所の指定を行った。(九十九園・つつきの郷・セピアの園) ・健康福祉部と連携して、災害時における要配慮者の避難を支援するモデル地区から選定。(5地区)	B	・災害時要配慮者の避難支援の充実のため、モデル地区の具体的な活動について進める。
	4. 自主防災組織育成	・災害時における地域での共助の体制づくりを支援する。河原区等22自治会結成済。	・自主防災組織の結成を目指す区・自治会の支援 ・自主防災組織連絡会(仮称)の設立	・自主防災組織の結成を目指す区・自治会の支援を行ったが、結成に至らなかった。 ・自主防災組織連絡会(仮称)の設立に向け、区・自治会との合意形成を行った。	C	・引き続き、自主防災組織の結成を目指す区・自治会の支援を行う。 ・自主防災組織連絡会(仮称)の本設立に向け、連絡調整を行う。
	5. 地域防犯対策の推進	・警察署との連携により、防犯意識の啓発、地域防犯活動の促進や防犯灯の設置を行う。	・警察署との連携により、防犯意識の啓発、地域防犯活動の促進や防犯灯(LED灯)の設置を行う。	・警察署と連携し、防犯意識啓発、地域防犯活動の促進を行った。 ・地域要望に応じ、防犯灯の設置を行った。 ・防犯カメラの増設(3カ所)	B	・引き続き、警察署と連携し、防犯意識啓発、地域防犯活動の促進を行う。 ・地域要望に応じ、防犯灯の設置を行う。 ・防犯カメラの増設を行う。

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命) 組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目 今年度取り組む事項	C 設定理由・考え方 どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	D 活動(手段) 重点目標項目を実現するため行う活動や手段	E 目標の達成評価 目標の達成状況や成果の評価 (できるだけ定量的に記入)	F 目標の達成度 ※目標の達成度の区分 (「B 重点目標項目」単位での評価)	G 今後の取り組み 目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6. 地域防災計画の見直し	・国の指針や府の防災計画に見直し及び原子力災害や南海トラフ地震想定見直しにあわせて実施する。	・国や府と連携し、見直しを実施する。	・国の指針や府の防災計画見直しの情報収集に努め、必要な改訂を行った。	B	・引き続き、国の指針や府の防災計画見直しの情報収集に努める。 (京都府の原子力防災や南海トラフ地震対応など)
	7. 災害時応援協定締結市との連携	・災害時応援協定締結市との連携	・鹿児島県霧島市、千葉県習志野市との合同訓練や勉強会の実施	・習志野市危機管理監を招き、避難所運営研修会を実施した。	B	・引き続き、鹿児島県霧島市、千葉県習志野市との連携交流に努める。

※【目標の達成度の区分：A 達成できた、B 概ね達成できた、C 達成できなかった】